

ほんべつ 議会だより

No.64

平成25年2月1日発行



(パッチ)



(スゴロク)



(いろはかるた)



(福笑い)

ゲームよりおもしろいかも!!

1月9日 昔あそび体験（歴史民俗資料館）

第4回定例会

平成24年度一般会計他7会計の補正予算等を可決

平成24年第4回定例会は12月3日に開会し、一般質問のほか一般会計他7会計の補正予算、本別町名誉町民条例の一部改正などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条例改正

本別町名誉町民条例の一部改正

条例の制定から35年余りが経過し、時代にそぐわない部分もあることから、名誉町民の特典及び待遇などの見直しを行うため改正するものです。

- 改正点は次のとおりです。
- ① 年金の支給の廃止
 - ② 故人の遺族に対する一時金の支給の廃止
 - ③ 死亡したときの弔慰金の廃止

※条例改正に併せて、町葬についても見直しを行い、遺族の葬儀とは別に、後日町の主催による故人を追悼する催しを実施します。

企業誘致条例の一部改正

平成23年度から推進の「新たな仕事づくり」は特に雇用機会の拡大を重点課題として、企業誘致や起業家支援を積極的に取り組んできました。このことを踏まえ、既存企業の振興と企業誘致を、より効果的に推進できるような環境整備を図るため、新たな雇用促進と設備投資に係る支援策を講じるための改正に対する質疑。

問

① 町内の企業がこの工業団地に新たに事業所なり工場を新設した場合、適用されるか。

② 設備投資奨励金を当該工場等に係る設備投資額の

答

① 既存企業は増設という中で、工業団地に限らず定義に合致すれば十分活用できます。

② 設備投資奨励金については、北海道ないし十勝管内の状況を事前に調査し、北海道の8%を参考にしています。

また、企業立地促進法に基づく基本計画を策定して20年に国の同意を受けたので、8%まで支援することができると、それを活用しました。

8%、または3千万円のいずれか低い額に設定した理由。

一般会計補正

幸栄橋補修

問

幸栄橋の補修内容は。

答

応急処置で橋脚の下に、砂利を詰めて入れ一時補修しているところを、春先の融雪時期に、砂利が洗掘され流される可能性があるので、モルタルを注入し、川の流れに抵抗できるように、これ以上傾かないように追加補修します。

町有林の活用

問

① 町有林を伐採し、公共施設に利用するとのことだが、詳しい中身は何か。

② 木の売払収入50万円について、内容は。

③ 給食センターの改築にあたっての調査設計委託料が1千万円減額になった理由は。

答

① 町有林のカラムツで50年以降の年齢



改築が待たれる給食センター

に達しているものを、建設予定の給食センターの事務室、会議室、玄関周りの内壁に活用したいと考えています。

② 公共施設に町のカラムツを利用するため、180立方メートルを伐採し、そのうち使える部分が160立方メートルと積算し、用材（給食センター使用分）には60立方メートルを利用します。残りの100立方メートルが売払収入分となります。

③ 外溝設計等、発注の計画一部変更による減と落札価格の減によるものです。

平成24年度 各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主 な 内 容
一 般 会 計	(1,110万5千円)	工業団地整備事業調査設計委託料 (臨時会)
	(9,501万円) 66億8,775万4千円	基金積立 移動支援事業費(利用者、利用時間増) 介護サービス費(通所介護、通所 リハビリサービス利用増) 暗渠排水調査設計委託料及び工 事請負費(経済危機対応・地域 活性化予備費対策による農業体 質強化基盤整備促進事業) 町有林伐採委託料、運搬料 幸栄橋橋りょう補修工事費(定例会)
国民健康保険	(147万5千円) 13億5,598万円	退職被保険者等療養費、高額療養費
介護保険	(13万4千円) 8億2,977万9千円	過年度分介護給付費及び財政調 整交付金精算
介護サービス事業	(△186万5千円) 2億8,305万4千円	人事異動による人件費調整 各事業費執行残調整
簡 易 水 道	(△384万円) 9,682万5千円	美里別簡易水道、町道水道管移設 工事費確定による減額調整 仙美里ポンプ場送水ポンプ工事費 確定による減額調整
公共下水道	(△814万1千円) 4億9,787万3千円	公共下水道汚水管渠新設工事、 更新工事費確定による減額調整 浄化槽新設工事費確定による減額調整
水道事業会計	(△720万円) 2億2,807万4千円	浄水場操作制御装置更新工事費、 浦幌坂配水池配水量計外更新工事費確定による 減額調整
病院事業会計	(△6,001万7千円) 15億3,539万3千円	医師の採用、退職ほか人事異動に 係る人件費調整

※第4回臨時会含む

問 今年度前半で外来患者数は1日平均16人が減になったということだが、後半の部分のこれらの患者数の動向は。

答 16人減というのは、当初予算と比べてということ、最終的な外来患者数については、見込みとして、昨年度と同程度になるのではと考えています。

国民健康保険病院事業会計補正



町国保病院

平成24年第4回臨時会において次のとおり可決されました。

開催日 11月5日

・平成24年度本別町一般会計補正予算(第7回)について可決

(企業誘致促進に伴う工業団地の整備に係る実施設計、用地確定の調査設計委託料、開発行為許可申請手数料の補正予算)

第4回臨時会

3月定例会は5日から
ナイター議会は12日に
予定しています

議場前のスペースを、傍聴者の方が気軽に休憩していただけるような場所にいたしました。是非、一度傍聴にお越しください。

傍聴者名簿の記載の方法を
変更しました

今までは、連記式で順番に名簿に記載していただいていたましたが、個別形式で、氏名を書いた紙を、投函箱に入れていただくことにいたしました。

平成24年傍聴者数

	男	女	計
第1回定例会	32	14	46
(内ナイター議会)	(18)	(14)	(32)
第2回定例会	14	16	30
第3回定例会	15	1	16
第4回定例会	9	1	10
小 計	70	32	102
第1回臨時会	2	0	2
第2回臨時会	1	0	1
第3回臨時会	2	0	2
第4回臨時会	2	0	2
小 計	7	0	7
議会運営委員会	1	0	1
総務常任委員会	4	1	5
産業厚生常任委員会	0	0	0
小 計	5	1	6
予算審査特別委員会	4	0	4
決算審査特別委員会	2	0	2
議員協議会	3	0	3
町民懇談会	54	7	61
小 計	63	7	70
合 計	145	40	185

一般質問

5名の議員から10問



行政

平成25年度予算編成方針について

答

人材育成・産業の活性化・安全安心の向上等6点を基軸として活力あるまちづくりを進めます



林 武議員

林議員 地域経済は疲弊し、自助努力も限界と言わざるを得ないのが現状であります。

地産地消を徹底し、冠婚葬祭など地元の人が地元で消費できる取り組み、町の商工、産業を守り、愛町購買の精神を助長しながら、小さなことからでも一つずつ行っていくことが大事と考えています。

林議員 農商工との強固な連携が不可欠です。産業の育成によって雇用も可能となります。産業振興が重点課題です。

町民力の発揮できる予算編成に期待しますが町長の考えを伺います。

高橋町長 地域資源を活用した産業や観光の振興策、

高橋町長 産業の育成は地域を活性化し効果的であるの思いから、起業家支援の新しい制度をさらに強化しながら実施します。農商工としっかりと連携をとりながら活性化に向け最善を尽くします。

本別町の災害対策について

答

ガイドマップは本年度配布します毛布などは十分な配置をしていません



大住啓一議員

大住議員 本年度防災計画の見直しを行うようですが、作業の進捗状況、ガイドマップの全戸配布、自治会等への説明はどのようになっていますか。又、各戸に緊急持ち出し袋等の支給は考えていますか。

今、本別町の避難所や公共施設には、毛布やポータブルストーブなど厳寒期の災害に対応する器具はどの位常備されていますか。防災計画の見直しに当たっては、避難所への経路など、町民の皆さんに解りやすく組み入れるべきだと思いますが。

高橋町長 防災計画の見直し作業は、地域防災研修会の開催や、職員を対象とした図上訓練を行い提起された問題等



避難所となっている中央公民館

に対処するための修正を行っています。ガイドマップは本年度中に全戸配布の予定ですが、緊急持ち出し袋の支給は自助の範囲と考えています。

現在の避難所には、毛布などポータブルストーブは十分な配置をしていません。

避難経路は、経路自体が危険箇所となる場合があるので、町民の皆さんに状況判断していただきますが、しっかりと誘導に努めます。



活性化の中心 役場庁舎

暮らし

乳幼児医療費助成制度拡大の考えは

【答】 将来的問題として前向きに検討します



小笠原良美議員

小笠原議員 現行制度を更に拡大し、中学校卒業までの子どもの医療費を全額助成すべきと考え、以下について伺います。

① 本年8月の制度改正を含め段階的に医療費助成を行う

乳		乳幼児等医療費受給者証	
記号	北-214	番号	
住所	北海道中川郡本別町		
氏名			
生年月日	年	月	日
有効期限	全額助成期間	年	月 日から
	一部助成期間 (1割負担)	年	月 日まで
		年	月 日から
発行機関名 及び印	北海道中川郡 本別町長		
交付年月日	年	月	日

てきていますが、中学校卒業までの医療費を全額助成した場合の町の財政負担見込み額は。

② 十勝管内の取り組み状況は。

③ 現行制度では、医療費無料の子どもと、1割負担の場合があり、家庭、地域内での格差があると思います。誰もが等しく公平、平等に医療を受けられる機会をつくるべきと考えますが。

高橋町長 ① 出生時から中学校卒業までの町が負担する額は570万円増額されて、2100万円となる見込みです。

② 中学生までの医療費の一部負担金を全額助成しているのは10町村です。

③ 25年当初からのスタートは無理と考えます。時間をいただいて将来的な問題として前向きに検討します。

町国保病院の不明金について

【答】 モニター会議や関係委員会等にも説明しています

大住議員 町国保病院の不明金は、過去2回の定例会で質問していますが、未だ不透明な部分が多い状況といえます。今定例会冒頭の行政報告において、委託会社より損害賠償金111万715円全額が納入されたこと、再発防止のため見直した事務処理の履行、原因解明に向け捜査への全面協力が報告されました。

し、種々意見をいただきました。結果として、チェック体制が確立され、業務の専門性やコスト面などを鑑みて現行どおり業務を委託することで理解をいただきました。また、捜査への協力と国保運営委員会等にも説明を行い、情報公開を行うことが責任と考えています。

先の議会では、モニター会議において委員の皆さんから意見をいただく旨の答弁がありましたが、経過はどうなりましたか。また、損害賠償金が納入されたことで不明金の件が解決されたことにはなりません。町民の皆さんの信頼を回復するために、行政の責任をどのように考えているか伺います。

高橋町長 モニター会議は、11月27日に開催



町国保病院

農業

「人・農地プラン」の作成状況と課題は

【答】あくまで地域の話し合いが基本です



阿保 静夫 議員

阿保議員 「人・農地プラン」

は、地域の話し合いで作成するというもので、農地集積協力金や青年就農給付金、スーパードル資金の5年間無利子等の支援が受けられるものです。

しかし地域ではどのように進めるか戸惑いがあるのも事実です。

① これまでの取り組みの経過と実績等について伺います。

② 地域での話し合い促進のためには、さらに他の関係機関との協力連携を強化する必要がありますが、考えますが、見解を伺います。

高橋町長

① 農業者へのアンケートなどを行い、現在4地

区でプランが作成されています。これまで、農業再生協議会のメンバーが地区に入り、たたき台の案を示し、説明を行うなどしています。

② 行政がやることではなくあくまでも地域の中でやることが基本です。プランの検討会は、JAや農業委員会など関係機関のメンバーで構成されており、そのプランを町が認定するというものです。



イモの選別作業

ビートの作付面積の維持拡大と担い手対策について

【答】基盤整備を中心に支援検討、農業塾を開催します

大住議員 年々減少傾向にあるビートの作付面積の維持・拡大対策と農業を安定的に発展させるためには、担い手対策が急務と思いますが考え方を伺います。

① 平成24年のビートの作柄は、低糖分であり農家個々の収入にも大きく影響するものと認識しています。支援体制強化や基準糖分の引き下げを求めるべきと思いますが。

② 農家の担い手対策は、これまでの議会の中で研修の充実を図るためにも静山研修センター等の活用も検討する旨の答弁がありました。

関係機関との連携も必要と思いますが、町長の考え方は。

高橋町長

① 本町の支援体制は、畑の基盤に関わることをしっかりと支援し、国に対し、製糖工場がある8つの自治体と北海道が協力し糖分基



休館中の静山研修センター

準の緩和を要請します。

② 静山研修センターは、2千万円以上の修理費をかけて使用することは難しいと考えられています。担い手の育成・研修に向けて、営農指導対策協議会が主催する農業塾を開催します。

人・農地プランとは

集落・地域が抱える、人と農地の問題を解決するため

- ・ 今後の中心となる経営体（農業者）はどこか。
- ・ 中心となる経営体へどうやって農地を集めるか。
- ・ 中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めた地域農業の在り方

などの「未来の設計図」を作成することです。





経済・産業

銀河通商店街振興の考え方は

答 商店街の振興にあたっては協力や支援は惜しみません



高橋利勝議員

高橋議員 銀河通商店街は平成九年度の街路整備事業を契機に商店街の再開発が行われ、

ました。改めて銀河通商店街の振興についてどのように考えているのか伺います。
また、歩道の縁石の破損、マンホールのでこぼこなどが目立ってきました。北海道に補修を要望すべきと思うが。

高橋町長

一時閉店しておりまして食料品の小売店につきましては、再開に向けての協議をしてきました。商店街の振興については、今後もできる部分については協力や支援は惜しまないつもりですが、商店街の努力なども含めてお願いしています。

マンホールのでこぼこについては、現場をよく見ながら要請していきます。縁石の破損については、全体的な規模での補修となることから、北海道と協議していきます。

大規模太陽光発電所の今後の誘致は

答 現在三力所目について協議を進めています

高橋議員 本町の太陽光発電の推進にあたって三点について伺います。

①大規模太陽光発電所（メガソーラー）については引き続き誘致する考えか、誘致する場合の用地の確保はどのように考えているか。

②一般住宅の太陽光発電システムの補助金を上積みする考えはないか。

③歴史民俗資料館に太陽光発電を設置し、太陽光発電啓発施設として活用してはどうか、また災害避難施設に太陽光発電の活用を検討する考えはないか。

高橋町長

①大規模太陽光発電所は引き続き誘致していきます。現在三力所目の誘致に向けて協議を進めています。

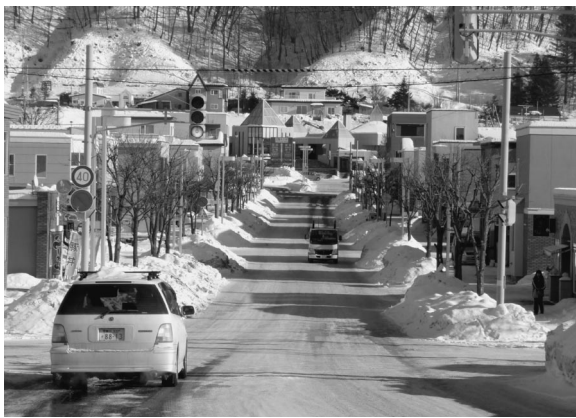
用地については、勇足の線路跡用地を考えています。



メガソーラー設置予定地（太陽の丘）

②一般住宅への補助金については公平性や財政状況から現状の制度のままで継続していきます。

③既存の公共施設への整備は避難所を優先的に検討しており、ふれあい交流館などを検討していきます。



銀河通商店街

今日まで本町のまちづくり、商業の振興のため尽力してこられたと思います。このよう

製材会社の誘致とカラマツ林の供給・育成強化は

答 業界日本一の企業、造林への補助増も考えたい

阿保議員

①誘致企業の主力の梱包材生産の将来的需要やすでに道内4工場が操業するそれぞれの町の状況等は。

また、木材関連企業の誘致は大歓迎ですが、これまでの企業誘致の経過も踏まえ、ど

んな企業なのかという率直な町民の声もあることからこの企業の状況を、広く町民に知らせる必要があると考えますので見解を伺います。

②本町の森林育成は厳しい環境と聞きますが、町の林業支援策の強化と企業の協力を得ていく合意形成等を図る考えは。

高橋町長

①この企業のカラマツ梱包材生産は日本で今後の需要も増加の見込みです。すでに操業している他の町では、行き詰まった林業が育成され、地域も活性化していると認識しています。

②カラマツ材の安定供給は重要で、国、道の制度の活用や町の補助率の引き上げなど当然しなければと考えます。



教 育

仙美中学校統合後の校舎等の活用の考え方について

答 地域の皆さんのご意見を聞き検討します

大住議員

仙美里中学校は、長年様々な人達と共に地域を支えてきました。統合することには一抹の寂しさがありますが、施設の活用を地域活性化の更なる出発点と位置づけた時、色々な活用方法が考えられます。本町で開催された生涯学習フォーラムでも事例として、老人ホーム・工場等が紹介されています。

校舎・体育館は、昭和62年、63年に建設の比較的新しい施設であることから、お年寄りと保育所の入所児との交流の場、農業大学校による野菜を含めて農産物の直売を行うなどの活用方法が考えられます。地域に合った活用方法について地域の皆さんと十分な協議を進めるべきだと思います。



統合が惜しまれる仙美里中学校

中野教育長

統合後の校舎等の活用につきましては、役場内部に仙美里中学校施設等利活用検討委員会を去る10月30日に設置し、今後の行政サービスの上に向け、町の活性化、仙美里地区の活性化が図られる方法を地域の皆さんのご意見もお聞きしながら検討したいと考えています。



製材工場誘致予定地（南4丁目）

意見書

第4回定例会では3件の意見書が提出され原案可決されました。意見書の要旨は、次のとおりです。

【要旨掲載】

泊原発1、2号機の再稼働の断念をする意見書

泊原発においては、原発から最短15キロ沖に長さ60〜70キロの活断層の存在が指摘され、敷地内を走る11本の破砕帯も活断層の可能性を否定できない状況にあります。こうした中で「再稼働」は容認できません。よって泊原発1、2号機の再稼働を断念することを強く要望します。

提出者 黒山久男



介護保険制度の「緊急改善」を求める意見書

本年4月の介護保険制度の見直しは、サービス低下や事業所の存続を左右しかねない状況を生み出していることから、保険料や利用料の応能負担や低所得者の負担軽減、生活援助の時間短縮の見直し、介護報酬の改善などを求めます。

提出者 阿保静夫



高レベル放射性廃棄物の最終処分場の受け入れ拒否を求める意見書

北海道及び幌延町、原子力機構は「研究のみ」として「放射性廃棄物や放射性物質を持ち込まないし使用しない」「研究終了後は埋め戻す」との協定を締結しています。放射性廃棄物の最終処理方法は確立されておらず、保管の安全性に疑問があります。北海道においては、高レベル放射性廃棄物の最終処分場の受け入れを拒否することを強く要望します。

提出者 高橋利勝



行政報告

12月3日第4回定例会において、町長から行政報告がありました。(抜粋)

第4回定例会

企業誘致の取り組み経過について

産業の振興と新規雇用の創出を図るため、道内外において地域資源を活用した企業誘致活動を取り組んできました。その成果の一つとして、林業関係の企業立地が実現する運びとなり、その概要について報告します。

道内において、カラマツ材の梱包材などの製材等を行っている「双日北海道与志本株式会社」、総合商社双日グループの「双日与志本林業株式会社」の子会社で、道内4工場を有しており、本別町は5工場目となります。

本別工場は、工場、倉庫、事務所、土場などを整備し、地域のカラマツ材年間3万立方メートルを活用し、梱

包材、チップやオガ粉などの製造販売を行う計画です。なお、設備投資額は約3億円の規模を想定しております、操業は、25年11月を予定しています。従業員については、20から23名程度で、大半は地元で雇用する計画で、林業を取り巻く環境は厳しい状況となっていますが、製材工場の誘致により、カラマツの植栽から伐採まで循環型の林業が確立され、雇用を始め、関連産業の育成など、本町の林産業の振興につながるものと大きな期待をしているところです。

この企業誘致に伴い、現在の南地区工業団地東側に、新たな工業団地（仮称）第2期本別町南地区工業団地」の整備を図る必要があることから、用地確定測量や開発行為などに係る準備を取り進めています。

さらに、今回の企業誘致に限らず、既存企業の存続、振興はもとより、町外からの企業誘致をなお一層促進し、企業誘致の新たな支援策を整備します。

町国保病院の医療費一部負担金の不明金についての経過と内科嘱託医師の勤務の変更について

先の9月定例会後の経過について、予算案の議決後、9月28日に委託会社より損害賠償金111万715円、全額の納入をうけたところでした。今後におきましても、再発防止のため見直した事務処理の履行など、さらに最善の努力をするともに、1日も早く原因究明に向け、全面的に捜査への協力をしていきたいと考えています。

次に、丹呉医師について、本人の願いにより、平成25年1月より、非常勤医師として週2回、勤務されることになりました。引き続き人工透析治療業務にご協力をいただくことになっていきます。



町国保病院

所管事務調査

総務常任委員会

調査日／平成24年10月15日

○入札制度の実状について (請負契約の流れ)

本別町の入札参加資格は、平成7年度を基準年度として各年度毎の2月1日から2月末日まで申請を受け付けています。例年約700件を受け付け、有効期間は2年です。資格審査を経て工種毎に格付を行っています。平成23年度の入札実績は86件ですがすべて指名競争入札か、少額工事の随意契約となっているようです。

まとめ

公共工事の入札は、一般競争入札が基本だと思いますが、現状の経済情勢、社会情勢を鑑み、指名競争入札をどのように活用していくかが課題と考えます。

一番透明性の高い一般競争入札の実施が原則と捉えています。

しかしながら、地元企業の育成や雇用対策等の関係

で、指名競争入札が行われています。本町ばかりでなく十勝管内の町村でも一般競争入札を取り入れているのは2町で一定の条件をつけており、今まで入札の実績はないということです。

入札の透明性という点から、以前には全国的に予定価格の事前公表が行われていたようですが、くじ引きの問題が出てからは、国の指導としても勧めていないとのことでした。本町においては閲覧とホームページによる事後公表を行っているようですが、高齢化の進んでいる中ホームページはあまり利用されていないと考えられます。町民の皆さんの理解を得るためには町広報の活用を検討も必要ではないかと思われます。

工事契約における不正事件が時々新聞報道されています。本町の入札制度については、指名競争入札であり、町の経済の活性化、雇用の場の拡大等、各産業に与える影響は非常に大きいです。公共事業は税金を投入しているわけですから公

平・公正な入札制度を強く望み期待をします。

産業厚生常任委員会

調査日／平成24年11月6日

○森林育成と林産業の現状と課題について

林産業の現状

本別町の森林面積は21,653 haで、本町面積のおよそ55%を占めており、そのうち、国有林9,921 ha、町有林906 ha、私有林10,826 haとなっています。

森林は、生物多様性の保全や集中豪雨等による災害の防止、また、水源の涵養など重要な役割を果たしています。林業活動の停滞や造林未済地の増加で、森林の多面的機能の持続的な発揮や木材の安定的供給に支障を来すことが懸念されています。



下刈作業

森林育成

町有林の管理については、森林環境保全整備事業等の補助制度を活用し森林育成に努めています。また、民有林の振興は、①森林環境保全整備事業補助金②民有林造林促進事業③未来になぐ森づくり推進事業（植栽に対する補助事業）④造林未済地対策として、民有林造林促進事業と未来になぐ森づくり推進事業対象となった植栽事業に対し、植栽に要する標準経費の3%以内を上乗せ補助しています。

【本別町の森林の現況】

本別町の土地面積 ①	森林総面積 ②	国有林	民有林	
			町有林	私有林
39,199 ha	21,653 ha	9,921 ha	906 ha	10,826 ha
	注1 55.2%	注2 45.8%	注2 4.2%	注2 50.0%

注1：町の土地面積に対するの森林比率（②／①）

注2：森林総面積に対するの比率（各区分／②）

まとめ

木材価格の低迷による採算性の悪化や森林所有者の高齢化により施業意欲が低下し、十分な整備が行われない森林が増加傾向にあります。今後は、適切な森林整備の推進、森林の持つ公益的機能の啓蒙等が必要とされます。

本町は国有林よりも民有林が多いことから森林組合の役割が大きく、森林経営計画の作成推進や計画に沿った森林施業が求められます。

地球温暖化対策や国土保全の観点から国がもっと森林整備に力を入れるべきと考えます。



集積原木

行政視察研修

総務常任委員会

調査日／平成24年10月22日～23日
(上川町、当別町)

○土砂災害警戒区域等の指定が認可された後の取り組み状況について

土砂災害警戒区域等の指定が認可された後の取り組み状況を、上川管内上川町と石狩管内当別町において①指定認可後の防災計画②指定認可後のハザードマップ③住民への周知と避難意識向上に向けての取り組み方法について行政視察を行っています。



上川町での研修

上川町は指定区域の大半が観光地で宿泊施設を有する層雲峡地区で、防災計画についてこの地区に重点

をおいて実施されています。また、この地区は国立公園区域であることから、国等の砂防・防災工事が積極的に行われています。

今後の課題として、災害時の食料の問題、要援護者台帳の活用方法の問題、ドクターヘリの悪天候時の着陸地の問題などが報告されています。

当別町では、平成24年度中に、防災備品の整備、地域防災計画の見直し、各種防災関連計画(耐震診断)の策定、自主防災組織(町の後押し)のサポート、各種防災訓練の企画・運営を取り組むとのことです。

町内に避難(収容)場所は21カ所、一時避難場所は38カ所あります。また、自主防災組織は44町内会のうち、実に36町内会が組織されており、81.8%の高組織率となっています。

まとめ

視察2町と本町の指定区域は異なる部分もあります。が、自主防災組織の拡大の推進を図るなど、防災、減災対策は、オール本別でし

っかりと取り組み、町民の皆さんの生命と財産を守る対策を行っていかねばならないと考えます。

産業厚生常任委員会

調査日／平成24年10月29日
(湧別町)

○新エネルギー(メガソーラー発電)の取り組み

湧別町クリーンエネルギー補助事業

平成22年度から3年間の時限付きで、個人住宅に太陽光発電システムを設置する際の補助制度を実施しており、補助金額は1kw当たり21万円で上限が84万円(4kw分)です。この補助制度は国の補助制度と関連なく適用されます。

メガソーラー建設

合同会社ソーラーエナジー、事業概要、町有地貸付期間20年、発電出力1,517kw、事業費4億7,500万円、土地賃貸料m当たり15円、補助金の支出及び固定資産税の減免等は行わない。

まとめ

普及拡大の取り組みとして町広報紙に補助事業内容などを掲載し広く町民に周知を行っています。また、補助対象者から利用状況(設置費用や売電量等のデータ)を報告してもらい普及に役立てています。



湧別町での研修

調査日／平成24年10月30日
(旭川市)

○障害者福祉施設の取り組み施設運営の概要

昭和63年に無認可の障がい者共同作業所「手づくり工房あかしあ」を開設して以来、旭川市内に4カ所の共同作業所を開設。平成9年に社会福祉法人を設立し、平成10年には道内初の3障がい(身体、知的、精神)に対応した合衆の通所授産施設を開設しています。



共同作業所「あかしあ」

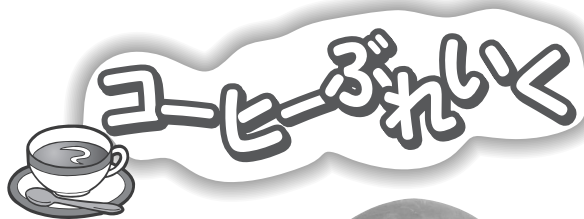
まとめ

今回の研修で私たちは障がいのある方たちをどれほど理解しているかということとを改めて考えさせられました。作業所には重度の障がい者も通所しており、受け入れ体制がとても良かったです。

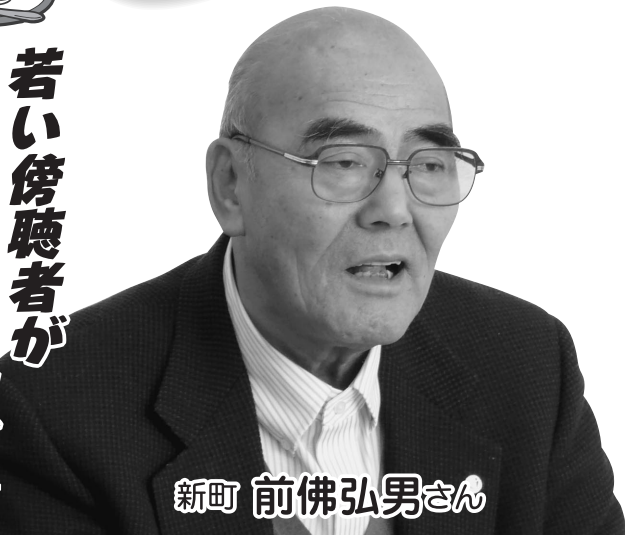
議会運営委員会

調査日／平成24年11月7日～9日
(新十津川町、奈井江町、南幌町)

3町とも、「議会活性化への取り組み」について、研修してきました。いずれも熱心に取り組まれており、中でも南幌町議会での、傍聴者名簿の個票形式と傍聴者の休憩所は大変参考になり、本町でも、早急に取り組むたいと思いました。



若い傍聴者が
少ないのは残念



新町 前佛弘男さん

今回、傍聴者が少なく2度目の取材にに応じてくださった新町の前佛弘男さん。「傍聴席から見て、以前は会議中に何か雑談をしている議員がおりましたが議員改選後（平成22年）になつてから真剣に引き締まってよくなったと思います」「答弁も当初は町長ばかりでありましたが最近担当職員（課長等）も答弁し、大変よくなったと思います」「傍聴者が少なくなりましたし、特に若い人が皆無なのは残念ですね。仕方のない面はありますが」と話してくださいました。

議会に対してのご意見は、（１）ナイター議会は年2回とか、（２）一般質問傍聴は年4回あるのか、日曜日に開催するとか、（３）女性議員さんは現在1名ですが、2名ぐらいおられても良いと思います。新町自治会長、通算17年で最古参の一人です。います。昨年9月15日、町功労者表彰を受けられています。趣味はと聞くと「庭いじりや、妻の清枝さんとのグループ旅行、スポーツ観戦」と答えてくれました。

議会日誌

〔 11 月 〕



- 1日 議会広報特別委員会
- 2日 十勝林活議連・十勝林活連絡会議「合同研修会」（新得町）
- 5日 第4回臨時会
十勝町村議会議員研修会（豊頃町）
- 6日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 7日～9日 議会運営委員会行政視察（新十津川町、奈井江町、南幌町）
- 13日～16日 全国議学会（東京）
- 28日 平成24年第2回一部事務組合議会（定例会）（帯広市）
- 29日 議会運営委員会

〔 12 月 〕



- 3日 第4回定例会開会、議員協議会
- 6日 議会運営委員会
- 11日 本会議（一般質問）、議員会役員会
- 12日 本会議（議案審議）、議会広報特別委員会、議会運営委員会
- 25日 第2回池北三町行政事務組合議会定例会（足寄町）
- 27日 議会広報特別委員会

〔 1 月 〕



- 10日 議会広報特別委員会
- 15日～16日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会札幌、東京要望
- 17日 議会広報特別委員会、議会運営委員会
- 23日 総務常任委員会所管事務調査

議会についての ご意見をお寄せください

「ほんべつ議会だより」を見て議会に対するご意見やご希望など、どんな事でも結構です。どうぞ議会事務局までご連絡ください。
TEL 22-8123/FAX 22-2147

町民懇談会の 日程について

昨年2月に行いました、町民懇談会は、4月に開催予定となりました。

右記の日程予定となっておりますので、多くの町民の皆様の参加をお待ちしています。

<日 程> (予定)

場 所	
4月16日(火) 午後6時30分～9時終了予定	本別町体育館 中競技室 勇足地区公民館
4月18日(木) 午後6時30分～9時終了予定	健康管理センター 仙美里地区公民館
4月19日(金) 午後6時30分～9時終了予定	ふれあい交流館 美里別地区公民館



資源を大切に——
ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。